

学生の皆さんへ

勉強する上で特に大切なのは、
「継続すること」だと思います。
これが難しいのですけどね、私も本当に苦手でした。
でも、初めはほんの少しのことでもいいです。
英単語十個毎日覚えるとか、
漢字ドリル一ページ多くやるとか。
自分にできそうなことをまず続けて、
徐々にレベルを上げてみるというのもいいのかもしれない。
継続する力というのは受験期はもちろん、
大人になっても大いに役立ちます。
ぜひ普段の学習で心がけてほしいと思います。

はじめて会った時の印象はとても物静かな生徒でした。
学志舎に来て、たんと勉強をこなして帰るような子でした。
しかし、彼の担当コーチとなっていていろいろと話をするうちに、
ものすごく熱い男だということがわかりました。
部活ではバレーボールにうちこみ、
運動会では応援団副団長として立派に役目を果たす、
バンドではベースギターを弾き、それでいて勉強もしっかりこなす。
何事も力を抜くことなく、真っ直ぐにぶつかっていく男でした。
私は特に勉強をしっかり教えたという記憶はありません。
彼がひたむきに勉強をこなしている場に寄り添って、
世間話を挟みつつ、たまにアドバイスをする。
コーチングで言えば「見守る」というスタンスで支援をしました。
気がついたら志望校に合格し、自分の夢を叶えようとしていました。
彼ももう大学5回生なのですね。
同じ医療職としてまた会えるのを楽しみにしています。
コロナが収束して機会があれば一杯飲もう！



担当コーチ 折原 薫也 愛知県在住 外科医

地元の薬科大学に通い、今年で五回生になりました。

今は一日の大半を研究室で過ごし、日夜実験に励んでいます。

卒業までの一年半は、実習に就活に卒論に国試と、常に何かに追われる日々となります。

そのような中でも、自分に足りない知識や力を身につけ、常に成長を心がけていきたいです。

医療人として、少しでも多くの人が健康に生きる手助けをしたい。

大学に入ってから変わらない目標を胸に、これからも頑張っていきます。

私は小学校六年生から高校卒業まで七年間、学志舎でお世話になりました。

塾長、事務長はじめ、コーチ全員が本当に暖かく、

勉強や習い事が嫌いだった自分も楽しく通わせていただきました。

通う中で、塾長や事務長には目標と学習計画をしっかり立てるよう

口酸っぱく言われたことを覚えています。

目標とそこまでの道筋が明確になったことでやる気も出て、

自律的な学習ができるようになりました。

そしてお二人とコーチの方々は褒めてモチベーションを上げるのがとても上手かった。

頑張れば頑張った分だけ褒めて下さったので、

単純な私は塾にいる間ものすごい集中力を発揮していました。(笑)

「学志舎での思い出」

高校生の時、帰る直前にみんなで雑談をしたことです。

高校生の部屋は二階で、勉強を終え下に降りると

いつも塾長と事務長が見送って下さいました。

学生生活や勉強の相談にもたくさん応じていただきましたし、

同級生やコーチも交えたたわいもない話をして、

気づいたら三十分経っていたなんてことも。

何気ない瞬間でしたが、辛い時、特に大学受験の時は

その暖かさに本当に救われました。

卒塾生 服部 淳 岐阜薬科大学 5回生

力を何%出せたのか？ 自分で採点する。

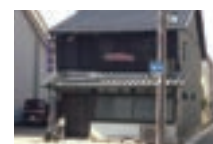
点数よりも、大切なものと教えています。

学志舎では教師のことを「先生」ではなく「コーチ」と呼びます。

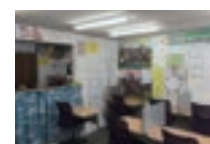
「コーチ(coach)」とは「馬車」の意。ひいては「大切な人を、その目的地まで送り届ける」という意となります。

学志舎

智をつけよ そして人の為に使わせ



築100年の古民家



1F 小中学生教室



2F 高校教室

〒500-8085 岐阜市白木町92番地

【お問い合わせ】平日10:00～21:00

☎ 058-265-4562



<https://gakushisha.com/>

学志舎

検索